

連帯の呼びかけ：パレスチナに恒久的な停戦と平和を

パレスチナ農業復興委員会 (PARC) /アル・リーフ社 (PARC フェアトレード事業会社)

親愛なる組合員の皆さまへ

「もし私が死ななければならないのなら、あなたは生きなければならない。私の物語を語るために」

これは、ガザでイスラエルの空爆により命を奪われたパレスチナの詩人、レファート・アラレアがこの世を去る（2023年12月）前に詩の中で残した言葉です。

私たちパレスチナ農業復興委員会 (PARC) とアル・リーフ社は、皆さまにパレスチナの現状への理解を深めていただき、ガザ地区でのジェノサイドと人道危機を恒久的に終わらせるため、即時停戦を求める声を上げていただくよう皆様に呼びかけます。また、「パレスチナの平和を求めるアクション実行委員会」が出し、日本の総理大臣、外務大臣、国会議員に提出される「ガザの恒久的な停戦と、パレスチナの平和を求める声明」への賛同も何卒宜しくお願いいたします。

パレスチナのガザ地区およびヨルダン川西岸地区は、極めて深刻な状況にあります。2025年1月から続いていた不安定な停戦は、3月18日のイスラエル占領軍によるガザへの爆撃により破られ、わずか2週間で1000人以上が命を落としました。ガザでは全住宅の約92%が全壊あるいは半壊し、復興に必要な費用は530億ドル以上と見積もられています。2023年10月7日以降、イスラエルの空爆により5万523人以上のパレスチナ人が死亡し、11万4776人が負傷しました。1ヶ月以上にわたり、イスラエルはガザへの支援物資搬入を阻止し続けており、飢餓と栄養失調の恐れが再び高まっています。また、イスラエルは2025年初頭から、ヨルダン川西岸北部のトゥルカレム、ジェニン両市およびその難民キャンプへの攻撃を継続しています。

パレスチナの人々は、76年以上にわたって平和を求めて闘い続けてきました。しかし、この困難な時期にあって、私たちは、パレスチナ人の政治的・人道的権利、そして自己決定権を支持し、行動してくださる世界中の友人たちの支援によってこそ、平和を実現できると確信しています。パレスチナの人々への連帯を示し続けてくださる皆さまのご尽力に、心より感謝申し上げます。私たちへのご支援にお時間を割いてくださり、誠にありがとうございます。

敬具

アル・リーフ チーム